

姫路支部だより

H I M E J I S H I B U D A Y O R I



11

2017 November No.30

- 1 10月の活動報告・事業報告
11月の活動予定
お知らせ
- 2 活動報告
第19回 建築子供プログラム 小西 毅
大阪府女性分科会 30周年記念事業 森澤理恵子
- 4 姫路建築探訪 F.50-V.27
西中島の古民家 福岡憲昭・山本薫



一番古民家らしさが残っている和室に入る。
目に飛び込むのは茶釜がモチーフだと思われる釘隠しである。
初めて見たデザインでうれしくなる。

「今度解体される古民家があるので見に行きましょう。場所は……。」
残念なことにその古民家は改修されると思っていた古民家であった。
そこに、古民家がかつて存在した証になればと今回の見学に向かった。
見学の日は台風の日で雨こそ少ないが、
古民家がなくなる事を悲しむような曇天の空の中見学が始まった。

表紙写真・文
西中島の古民家
(姫路建築探訪より)

■ 10月の活動報告

- 10. 5(木) 建築模型作り体験講座 (県立ものづくり体験館)
- 10.18(水) 環境デザイン研修会 (姫路建設会館)
- 10.20(金) 建築模型作り体験講座 (県立ものづくり体験館)
理事会 (姫路建設会館)
- 10.26(木) 🏠 CPD認定事業 構造学習会 (姫路建設会館)
🏠 CPD認定事業 建築相談 (姫路市役所)
- 10.27(金) 🏠 CPD認定事業 建築子供プログラム (旭陽小学校)

■ 11月の活動予定

- 11. 8(水) 建築模型作り体験講座 (県立ものづくり体験館)
- 11.12(日) 60周年記念事業シンポジウム「播磨に住まう」(兵庫県立大学)
- 11.15(水) 環境デザイン研修会 (姫路建設会館)
建築模型作り体験講座 (県立ものづくり体験館)
- 11.20(月) 建築模型作り体験講座 (県立ものづくり体験館)
- 11.25(土) 🏠 建築家 末光弘和氏 講演会 (県立ものづくり大学校)
- 11.30(木) 🏠 構造学習会 (姫路建設会館)
🏠 建築相談 (姫路市役所)

■ 事業報告

構造学習会



昨日10月26日 第7回の構造学習会を行い、参加人数は24名でした。
木造の柱の設計と構造力学の復習を行いました。景山先生に分かりやすく解説していただき、受講生の皆様は熱心に講義を受けられていました。

■ お知らせ

- 12月22日(金)

「山崎断層と播磨平野」講演会
15:30~17:30 姫路じばさんビル

忘年会
18:00~20:00 旬美魚町店

* 詳細は後日ご案内いたします。

平成29年度 姫路支部事業活動

第19回 建築子供プログラム 報告

日時 平成29年10月27日(金) 9:00~12:25
場所 姫路市立旭陽小学校
参加者 旭陽小学校6年生(3クラス、94名)、支部会員:15名、一般1名

今年度は、姫路市立旭陽小学校6年生を対象に実施しました。内容は、①設計、②Q&A、③モルタル作り体験の3項目です。

① 設計

事前課題として、個人で夏休みの宿題としてプランを考えてもらいました。休み明けに各グループで一つの案にまとめた状態でのスタートです。当日は、士会のスタッフと相談しながら、作図しました。最後に、各グループの代表児童がプレゼンをしました。

② Q&A

事前準備で、旭陽小学校内の各所を写真撮影しました。当日は、その写真をスクリーンに映写し、クイズ形式で建築基準法や消防などの法律や、建築に関する知識を学んでもらいました。

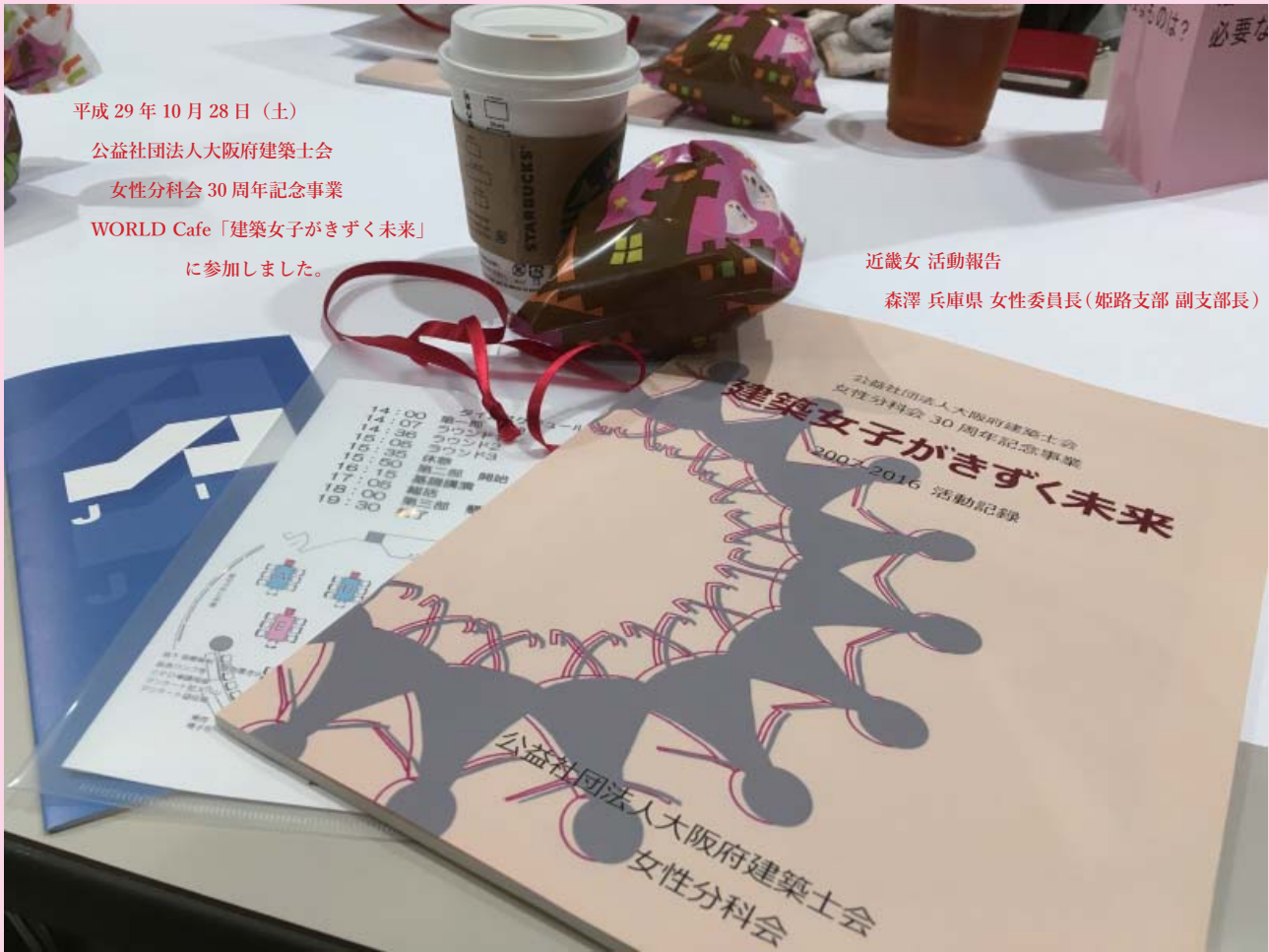
③ モルタル作り体験

まず、砂やセメント、モルタル、コンクリートなどの材料について説明しました。次に砂とセメント、水で実際にモルタルを練り、型枠に流し手形をつけ、モザイクタイル等で飾り付けをしました。

この事業をきっかけに、建築に興味・関心を持って将来、建築に携わることを期待します。真剣に楽しそうに取り組んでいる子供達の様子を見ることができ、我々支部スタッフも楽しく事業を実施できました。



(報告:小西 毅)



平成 29 年 10 月 28 日 (土)
 公益社団法人大阪府建築士会
 女性分科会 30 周年記念事業
 WORLD Cafe「建築女子がきずく未来」
 に参加しました。

近畿女 活動報告
 森澤 兵庫県 女性委員長(姫路支部 副支部長)

<第一部>ワールドカフェ方式のグルーptークでした。

建築・インテリアに関わる女性のみでのグルーptークで、建築に関わる社会人一年目の方や、建築が好きな別会社の方、70代で設計事務所をされている方、子育てしながら働いている方など、様々な方々と約30分ずつ3回に分けてワークショップをしました。「なぜ建築にかかっているか」「建築女子が活躍するために足りないもの」「建築女子が考える魅力的な社会・都市・建築・まち」3つのテーマでしたが、最初の自己紹介から、活発なトークで途切れることがありませんでした。皆さんの話を聞きながら、気づいたこと、聞きたいこと、思ったことをメモし、次のグループのヒントにもするという進め方は、とても良い方法だと思いました。



<第二部>報告会と国土交通省住宅局長の伊藤明子氏による基調講演「建築女子に期待する」でした。

日本社会の現状、女性活躍の現状、住宅・建築産業の現状、建築女子に望むことをテーマとし、データをもとに人口構成の移行、地域別女性の有業率、働き方改革への対応等々、あっという間の90分でした。“従来の規範に囚われない発想力・おせっかい力”や、できないではなく、やると決める“突破力”を持つ!と、建築女子に望むこととして締めくくって頂きました。



<第三部>懇親会です。

第一部でグルーptークをしていたので、名刺交換もスムーズにすることができました。

100名ほどの女性が集まり、共催などの建築団体の皆様と一緒に、この記念事業に参加できたことを嬉しく思います。当日は、雨でしたが、会場内はとても熱い情報交換の場でした。その後の打ち上げにも参加させて頂き、大阪女性建築士の皆様の行動力、強さを感じました。



名称：西中島の古民家（一般住宅）
所在地：姫路市西中島

【概要】
建築年代：明治44年頃
敷地面積：381.24㎡（115.32坪）
延床面積：224.61㎡（67.94坪）



2階からの風景



廊下



一本溝の掃出窓



床の間



釘隠し



和室 4.5帖



小屋裏



小屋裏



欄間



建具



飾り窓



階段の折戸



階段



2階：縁側



蔵

【感想】

作業着の人たちがそれぞれ野帳、測量ポール、メジャーを持って住宅の周辺を歩き調査を行っている。「古民家の改修だな！」とハンドルを握る顔に思わず笑みがこぼれる。それから約一か月後に福岡さんから連絡が入る「今度解体される古民家があるので見に行きましょう。場所は……」残念なことにその古民家は改修されると思っていた古民家であった。そこに、古民家がかつて存在した証になればと今回の見学に向かった。見学の日は台風の日で雨こそ少ないが、古民家がなくなる事を悲しむような曇天の空の中見学が始まった。



小屋裏へ上る階段



帽子掛け

外観は道路沿いの1階外壁は石が貼られ一見、古民家に見えないが2階部分に目を移すと、漆喰壁に隅には左官が腕を振ったであろう装飾が残っている。

玄関を入ると古民家と言っても何回か改修、増築が行われ古臭い印象ではなく、和洋折衷の少しモダンな印象の内装である。一番古民家らしさが残っている和室に入る。目に飛び込むのは茶釜がモチーフだとと思われる釘隠しである。初めて見たデザインでうれしくなる。実はここで少し違和感を感じる。よく見るとこの住宅はただでさえ襖が少ない上にその襖が外され、目に入ってくる建具がガラス障子ばかりだからと分かった。

またこの和室の木部は古代色の塗装が施され、いつもの古民家とは少し趣が違ふと感じていたが、時間が経つと違和感から新鮮な感覚へと変わっていった。続きの和室は天井に梁が表されており、この梁も古代色に塗装されている。長押にある「帽子掛けも既製品の様だが細い竹を曲げて作られたものらしく昔の小物は既製品であっても職人技が感じられた。庭に面した廊下を北側に向かうと増築部がある。1、2階とも和室で廊下と和室の間仕切りの垂壁にあるシンプルだが納りが難しいような欄間や床柱の鍔丸太、階段の細く真っ直ぐな丸太手すり、絵の様に見える木目が美しい障子の腰板等に目が奪われ見とれていた時に福岡さんが言った「写真で広縁の窓に召し合わせが無いの伝わるやろか？」

よく見ると一本溝の掃出し窓は、閉めているときは隙間風防止の為のものか窓框に実加工がされ、階段下まで続く長い敷居を利用して、窓が全て開放される様になっている。2階の広縁（廊下）と階段の間にも防寒対策と思われる折れ戸が設置してありこの住宅の主は機能性と意匠に相当な『こだわり』を持った人物だと僅かの時間の間に感じる事ができる住宅である。ここで、見学を終える予定だったが陽が当たり少し明るくなった2階が見えた為どうしても小屋裏が見たくなり、壊れた階段を上り小屋裏へと上がって見た。

古い家具が置かれ、見つけた新聞や名刺の年代から時間が止まった歴史を感じる空間が存在していた。その空間の中央。幾重にも重なったうねった丸太の小屋梁が主の居ない住宅を今でも力強く守っている！ そんな気配を感じた。目に見える丈夫な構造躯体が安心感を与えてくれる。これぞ、日本家屋！残ってほしいけれども…

あとがき

今回は不動産会社の方に無理を言って見学させていただきました。話を聞けばこの古民家は完全に解体するとはまだ決定していないとのこと。この日の帰る頃には晴れ間が見えた天気のように、『古民家残ります！』と心が晴れるような結果になればと少し甘い期待を持っています。